

1508 夏号 第149号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827  
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23  
(ホームページ http://www.yin.or.jp/user/ankyoku/)

- |          |           |             |          |           |
|----------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 南アルプス交通安全協会 | 韮崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会  |
| 鵜沢交通安全協会 | 南部交通安全協会  | 市川交通安全協会    | 石和交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会  | 富士吉田交通安全協会  | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

自動車安全運転センター山梨県事務所  
社団法人・山梨県バス協会  
山梨県二輪車安全普及協会

社団法人・山梨県トラック協会  
社団法人・山梨県自動車整備振興会  
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会  
山梨県軽自動車協会  
社団法人・山梨県建設業協会



# やめようよ 自身のルールで 走るのよ

## 夏の交通事故防止県民運動

7月21日から8月20日



真剣な表情で交通安全子供自転車大会に臨む高根東小の高学年児童

=高根町村山北割の高根東小体育館

### 交通安全カレンダー

- 7月21日～8月20日 夏の交通事故防止県民運動
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会
- 12月 年末の交通事故防止県民運動
- 平成17年
- 2月 交通安全推進県民大会
- 4月 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会  
二輪車安全運転山梨県大会

夏の交通事故防止県民運動は、七月二十一日から八月二十日までの三十一日間実施されます。この運動は、夏の行楽シーズンと児童・生徒の夏休みが重なり、交通事故の多発や暴走族活動の活発化が予想されることから、県民が主役となって取り組む参加・体験・実践型の交通安全運動を推進し、交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止を図ることを目的に行われるものです。

運動の重点は①高齢者と子どもの交通事故防止②シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底③運転中の携帯電話使用禁止の徹底④飲酒運転等悪質・危険な運転の追放です。

山梨県交通安全協会では、関係機関・団体と連携して、地域に密着した交通安全活動を繰り広げ、交通安全の大切さを呼びかけます。

### 内容紹介

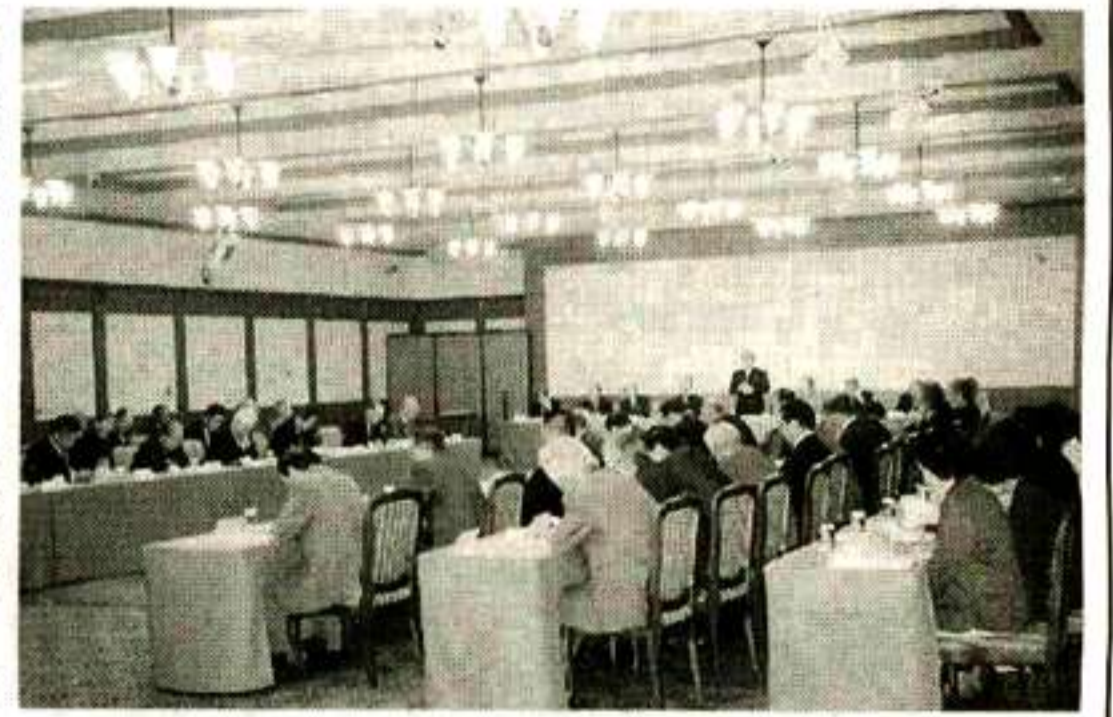
- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 2面 関東安協表彰式、県安協事業報告  | 6面 信玄公祭りに出陣     |
| 3面 子供自転車・二輪車安全運転県大会 | 7面 シートベルト着用推進運動 |
| 4～6面 各地区安協の活動       | 8面 協賛5団体の交通安全活動 |

### 交差点

今、起きたばかりの交通事故現場を見かけることがあります。誰もか「自分は事故に遭わないように正しい運転をしよう」と気を引き締めるでしょう。でも、事故に遭わないためには、それだけでは十分とはいえません。「防衛運転」が大切です。単に「自分は安全運転しているから大丈夫」ではなく、他の車の運転者や歩行者がどのような危険な行為に出たとしても、これに対応できるようにあらかじめ相手の心を読み、その運転行動を察知して事故につながらない行動のことであります。しかも、その判断が必要となるので、様々な防衛運転の場面を想定して対応できなければなりません。たとえば、対向車が追い越しをかけてきそうな場合、あらかじめ減速して前方に余裕の空間を作ります。逆に、後ろから追い上げてくる車には適当な場所を見つけてうまく追い抜かせてしまえば、お互い心に余裕を持った運転ができます。深夜早朝は信号無視も目立ちますので、青信号でも左右からの車に特に警戒が必要です。さらに、カーブ手前では減速が大切ですが、特に右カーブでは対向車が遠心力ではみ出す可能性もあります。交通量が少ない場所では一時停止を無視して止まらず進入してくる車があるかもしれません。長年、無事故無違反のドライバーは多くがこの防衛運転をしています。事故を予知して減速・確認することで自らを守る運転であるとともに「思いやりのある運転」でもあります。

# 婦人部活動を強化

## 県安協が理事・評議員会 初の女性評議員3人誕生



平成15年度の事業・決算を承認した県交通安全協会の理事・評議員会

「高齢者を中心とした交通事故に死亡者が増えるため、高齢者の実情に詳しい地区安協の婦人部の活動を強化する必要がある。婦人部の連合組織を結成し、役員を県安協評議員へ選任し、民間交通安全団体の中核としての責任を果していきなさい」とあいさつ、議事に入り、各地区安協の婦人部長がオブザーバーとして参加しました。

山梨県交通安全協会は、平成十五年の事業計画に基づき①シートベルトの着用とチャイルドシートの使用の徹底②高齢者の交通事故防止活動、特に反射材の普及の徹底③飲酒運転追放活動の推進④若者による無謀運転及び暴走族の追放活動の推進⑤歩行者・自転車利用者の交通マナーアップ活動の推進⑥交通事故防止活動の徹底⑦の六点を重点として各種事業を推進しました。

50人が参加して交通安全推進県民大会を開催。交通安全宣言、中学生による交通安全弁論のほか、文科省から指定されている山梨県立高等学校の交通安全の取り組み発表、アトラクションとして山梨県立高等学校いれき太鼓隊による大鼓と三味線の演奏を実施した。

事業所1事業所・交通功労者13人・優良運転者15人・優良職員2人・山梨県交通安全協会会長及び山梨県警察本部長連名表彰

マナーアップ活動のため、ポスター、ラジオのスポット放送の実施、子ども交通安全教育車による広報啓発活動・ビデオ、映画フィルム等の貸出し202回・第34回交通安全大会へ派遣・山梨県大会の開催と全国大会への派遣・日本管理技術協会山梨支所と協力し、TSMマークの普及と街頭点検活動を実施

及びシートドライブレコーダー、作戦に対する支援  
②第45回中学生交通安全弁論大会を開催・弁論要旨集の発行  
③「やまなし交通安全情報」紙の発行年4回1008万部  
④交通安全教育資材「横断歩行者注意」交通安全教育ビデオ等貸出し資材をホームページに掲載。横断歩行者注意シートベルトコンヒンサー、ダミーマン形、ミニ信号機、ぬいぐるみ、交通安全教育用ビデオ、映画フィルム等を貸出し  
⑤交通安全用の小冊子、ポスター、チラシなどの配布

## 県安協 平成15年度の事業報告

た交通安全功労者や長年無事故・無違反の優良運転者に対する各種の表彰を行った。

①全日本交通安全協会会長及び警察庁長官連名表彰  
金賞2人・銀賞5人・銅賞110人・優良交通安全協会1協会・その他団体及び学校3団体1校

①自乗車の交通安全対策  
自乗車安全教育推進委員会の開催  
自乗車安全教育特別指導員講習会への派遣・自乗車安全教育指導員に対する講習会の開催・幼児及び小学生を対象とした自乗車安全教室の開催448回43399人

①各種交通安全諸活動に対する支援・地区安協、交通安全母の会、高速交通安全協会などの団体に対する助成並びに交通ボランティア

では、法律で安全運転管理者を置くことが義務付けられていて、年一回の講習を行うことになっていきます。

財団法人山梨県交通安全協会は六月九日、甲府・富士屋ホテルで理事・評議員会を開催し、各地区安協の婦人部長がオブザーバーとして参加しました。

「高齢者を中心とした交通事故に死亡者が増えるため、高齢者の実情に詳しい地区安協の婦人部の活動を強化する必要がある。婦人部の連合組織を結成し、役員を県安協評議員へ選任し、民間交通安全団体の中核としての責任を果していきなさい」とあいさつ、議事に入り、各地区安協の婦人部長がオブザーバーとして参加しました。

新役員は次の通りです。  
▽会長 堀内光雄▽副会長 山下道男、八木吉治、宮川睦武、山下謙二、伊藤重忠▽参与理事 植野友規、和田博夫、保坂輝行▽専務理事 窪田正英▽参与理事 山田晃▽理事 刃刀長夫、清水武則、深沢豊、依田倉蔵、三枝力、河野勝、内藤進、山口一郎、渡邊日出

▽交通安全功労者と夫人 大野良平・静子(甲府) 池川春男・和代(南甲府) 内池虎雄・双美(南アルプス) 小林弘勇・勝子(葦崎) 保坂亨・よし子(長坂) 伊藤文雄・まよ子(諏訪) 望月都雄・和美(南部) 小林貞春・きよ子(市川) 雨宮良哲・みどり(石和) 松橋勝美・重子(塩山) 高部愛明・きく江(都留) 渡邊卓也・八重子(富士吉田) 鷹取重典・市子(上野原)

山梨県交通安全協会は、県公安委員会から委託を受け、安全運転管理者法定講習会を

この講習は、道路交通法に定める安全運転管理者および副安全運転管理者の責任と資質の向上を図り、安全運転管理者を置く事業所の交通事故防止徹底を期すものです。一定以上の車を保有する事業所

では、法律で安全運転管理者を置くことが義務付けられていて、年一回の講習を行うことになっていきます。

なお、会場によっては駐車場の確保が困難なところもありますので、公共交通機関を利用するか、相乗りでの来場をお願いいたします。

## 交通安全功労者等表彰式

主催 関東交通安全協会連合会



## 県内から功労者13人

関東安協連合会が個人、団体を表彰

表彰を受けたのは、長年にわたり交通安全のために献身的な努力をし、多大な功績があった個人と団体です。関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名による表彰とともに、交通安全功労者の夫人にも関東交通安全協会連合会長から長年にわたる協力をたたえ感謝状が贈られました。山梨県関係の被表彰者は、次のとおりです。

▽交通安全功労者優良職員 須玉美紀(南アルプス交通安全協会) 小澤公彦・大森広美(山梨県交通安全協会)

## 安全運転管理者の講習日程

講習地域	実施月日	会場
甲府	11月4日(木)	敷島総合文化会館
	11月5日(金)	
	11月9日(火)	
南甲府	11月12日(金)	甲府市総合市民会館
	11月16日(火)	
	10月13日(水)	
	10月15日(金)	
	10月20日(水)	
南アルプス	10月25日(月)	高度農業情報センター(ふれあい情報館)
	10月27日(水)	
	9月3日(金)	
葦崎	9月7日(火)	葦崎市文化ホール
	7月2日(金)	
長坂	7月9日(金)	長坂町中央公民館
	7月30日(金)	
諏沢	7月15日(木)	諏沢警察署
	7月16日(金)	
南部	10月14日(木)	身延町総合文化会館
	10月21日(木)	
市川	10月22日(金)	南部町総合会館
	9月9日(木)	
石和	9月10日(金)	市川大門町民会館
	9月14日(火)	
下川	11月17日(水)	勤労青年センター
	11月19日(金)	
日留	7月13日(火)	山梨市民会館
	10月5日(火)	
都留	10月6日(水)	塩山市中央公民館
	6月29日(火)	
富士吉田	6月30日(水)	富士女性センター
	6月15日(火)	
大月	6月16日(水)	富士吉田市民会館
	6月22日(火)	
上野原	6月23日(水)	大月市民会館
	6月25日(金)	
大野	7月8日(木)	上野原町民会館
	7月20日(火)	
上野原	7月22日(木)	

(注)すでに終了した講習日程についても掲載してあります。予定日に受講されなかった管理者の方は、都合の良い日を選ぶなどして、全員が受講されますようお願いいたします。

関東安協連合会の表彰を受けた県内の関係者  
さいたま市・ロイヤルパインズホテル

# 高根東小Aが団体V

## 小瀬で交通安全子供自転車県大会 学科満点賞に土屋、田丸さん



小学生が自転車の知識と技術を競った交通安全自転車県大会で好成績を挙げた高根東小A・Bチーム  
—甲府・小瀬体育館

北新小学校B▽9位 八田小 丸茂咲菜(北新小A)半田佑介(高根東小A)  
学校▽10位 上野小学校 清水竜司(高根東小B)▽8位  
【個人部門】▽優勝(県警本部賞) 田代佑梨(高根東小A) 田代佑梨(高根東小A)中澤優和也(高根東小A)▽準優勝 丸茂咲菜(北新小A)後藤澁(北新小A)井上翼(高根東小B)清水規彦(高根東小B)▽4位 植彦、田丸芽生(高根東小B) 童司、清水優(高根東小B) 松正樹(高根東小A)▽5位 丸茂咲菜、上條弘貴(北新小A)坂本健人(須玉小) 田丸芽生(高根東小B)▽6位 也、安孫子悠生(高根東小A)

# 一般Bは大谷さん優勝

## 二輪車安全 女性 の部は小林さん

第三十四回二輪車安全運動大会が山梨県交通安全協会、山梨県二輪車安全運動推進委員会の共催で六月十三日、南アルプス市の山梨自動車学校で開かれました。参加者は日ごろ、二輪車を利用してのライダーで、今大会には二十七人が参加し、一般B(400ccを超えるもの)、一般A(400cc以下)、高校生等(50cc)、女性(50cc)の4クラスで法規走行と技能走行で運転技術、正確性などを競い合いました。

# 新生に原付講習 山梨園芸高が導入3年目



原動機付き自転車の技能講習を受ける1年生  
—山梨園芸高

山梨園芸高校(宮川芳春校長)は、県交通安全協会と県二輪車安全推進委員会の協力で、一年生に対する原付バイクの技能講習を実施しました。この講習は同校生徒が交通事故で亡くなったことをきっかけに、免許を取得する前に正しい実技を身につけてもらうと導入し、今年で三年目になります。「正しく教える、正しく乗らせる」を基本理念とし、一年生の必修科目に設定し、授業としてバイクの実技指導を伴った交通安全教育を実施しています。これは全国でも唯一の取り組みです。今年も四月にクラス単位で行い、二輪車安全推進委員会の指導員による基本操作・基本走行の講習を受け、ほぼ全員が一定レベルの運転技術を習得しました。

年間の授業計画では実技指導のほか、二輪車安全推進委員会の資格を有する職員による、ライダーとしての責任や交通法規、危険予測、交通事故による救急救命法などを学んでいきます。



十三日、南アルプス市の山梨自動車学校で開かれました。参加者は日ごろ、二輪車を利用してのライダーで、今大会には二十七人が参加し、一般B(400ccを超えるもの)、一般A(400cc以下)、高校生等(50cc)、女性(50cc)の4クラスで法規走行と技能走行で運転技術、正確性などを競い合いました。

この講習は同校生徒が交通事故で亡くなったことをきっかけに、免許を取得する前に正しい実技を身につけてもらうと導入し、今年で三年目になります。「正しく教える、正しく乗らせる」を基本理念とし、一年生の必修科目に設定し、授業としてバイクの実技指導を伴った交通安全教育を実施しています。これは全国でも唯一の取り組みです。今年も四月にクラス単位で行い、二輪車安全推進委員会の指導員による基本操作・基本走行の講習を受け、ほぼ全員が一定レベルの運転技術を習得しました。

手が参加して、学科六百点、実技五百点、合計千百点から減点方式で競いました。この結果、団体部門では高根東小学校A、個人部門では山田和也さん(高根東小学校A)が優勝しました。また高根東小学校Bチームの土屋規彦さん、田丸芽生さんは学科で満点を獲得し満点賞。学科、個人総合とも高得点者には優良賞と努力賞を贈りました。【団体部門】▽優勝(県警本部賞)北新小学校A▽準優勝(県警本部賞)北新小学校A▽準優勝(県警本部賞)北新小学校A▽7位 下吉田東小学校A▽8位

# 夢の実現まじりに

## 最近の会議で事故減少のための有効な可能性はあるものか、という話を聞いた。事故防止にはハード、ソフトの両面の整備

最近の会議で事故減少のための有効な可能性はあるものか、という話を聞いた。事故防止にはハード、ソフトの両面の整備



清水 俊夫  
県警交通部参事官



安全のために  
半減したが交通事故は終わっていない。この戦争を終結させ

た。今、事故死者は半減したが交通事故は終わっていない。この戦争を終結させ

た。今、事故死者は半減したが交通事故は終わっていない。この戦争を終結させ

た。今、事故死者は半減したが交通事故は終わっていない。この戦争を終結させ

昭和三十九年代はベトナム戦争があった。その戦争の死者より交通事故死者が多いという事で当時交通戦争という言葉が使われていた。今、事故死者は半減したが交通事故は終わっていない。この戦争を終結させ

昭和三十九年代はベトナム戦争があった。その戦争の死者より交通事故死者が多いという事で当時交通戦争という言葉が使われていた。今、事故死者は半減したが交通事故は終わっていない。この戦争を終結させ

昭和三十九年代はベトナム戦争があった。その戦争の死者より交通事故死者が多いという事で当時交通戦争という言葉が使われていた。今、事故死者は半減したが交通事故は終わっていない。この戦争を終結させ

昭和三十九年代はベトナム戦争があった。その戦争の死者より交通事故死者が多いという事で当時交通戦争という言葉が使われていた。今、事故死者は半減したが交通事故は終わっていない。この戦争を終結させ

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店  
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目32-13  
日東ビル4階  
TEL055-228-0691

# 体験、実践、夏につなげよう



道路の横断の仕方や自転車の乗り方などを八代小児童が学んだ交通教室

八代小児童と父母  
事故の怖さを学ぶ

○：石 和

月下旬、八代小児童百九十七人を対象に、「道路を歩く場合の指導」「自転車の点検と乗り方の指導」「ダミー人形による衝突実験」をテーマにした交

通教室を開催し、石和署会長は、「高齢者と子供の交通事故防止」を活動重点に掲げ、各支部で積極的な取り組みをしています。特に、八代支部(古屋寿満支部長)は五



新入学児童に交通安全啓発用品を贈り、交通安全を呼び掛ける南甲府安協の支部役員



高齢者が自転車の2段階右折の方法などを学んだ交通安全スクール

当日は、児童の保護者も参加し、その協力を得ながら実施しました。参加した父母からは、実践的な交通安全教室の開催に「交通安全への認識を新たに、わが子を含む子供の交通事故防止に気持ちを新たにしました」との声がありました。

参加した高齢者には、記念品として反射材を贈りました。

なお「四つのおやくそく」は、管内全幼稚園・保育所三十力所の新入園児約千三百人に、反射材付き黄色い傘は管内全小学校二十校の新入学児童約千二百人に贈りました。



新入園児に安全グッズをプレゼント

## GW事故防止に 総合街頭指導所

○：日下部

日下部交通安全協会(天野経廣会長)は日下部署とともに、ゴールデンウィーク中の交通事故防止活動として五月十六日、国道140号日下部署前に総合街頭指導所を開設

「高齢者の事故絶無」  
参加者が風船に願いを託す

○：塩 山

塩山交通安全協会(橋爪進会長)は、春の全国交通安全運動初日に塩山署で「交通安全・高齢者の事故絶無をめざそう」と運動開始式を行いました。

南甲府交通安全協会(山下讓二会長)は南甲府署と共同で、四月五日までに、管内の公立小学校二十七校の新入学児童千八百二十人に「交通安全下敷」を贈りました。交通安全の基本ルールを理解し

交通安全フェスタ  
事故防止を訴える

○：大 月

大月交通安全協会(山下道会長)は大月市、大月署は

か関係各団体の長らとともに四月九日、大月市賑岡町の法輪寺で、交通安全祈願と交通事故死者追悼を行いました。四月十一日には大月東中を会場に、交通安全関係団体の協力で「交通安全フェスタ」を開催し、市民に交通事故防止を訴えました。横断歩行者「トレーナー」を使って接近する車両と横断中の歩行者の位置関係を体験するコーナーや、「シートベルトコンビンサー」で衝突の衝撃とシートベルト着用効果を体験するコーナーなどが人気を集めました。「チンドン屋」の交通安全啓発パレードもありました。四月二十一日には鳥沢小で「交通安全教室」を開き、新入学児童が横断歩道の渡り方などについて学びました。

甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は甲府署と共同で、四月八日に千塚小体育館で参加体験型の「高齢者交通安全スクール」を開催しました。

甲府安協千塚支部(飯窪宗男支部長)と千塚老人クラブ連合会の協力を得て、約六十人の高齢者が参加。体育館内の模擬道路コースで道路を歩く場合の訓練として、正しい横断歩道の渡り方や障害物の側方を通過する際の安全確認の仕方を学びました。また自転車では信号機のある交差点での二段階右折の方法や一時停止場所での安全確認の仕方など実際に体験してもらいました。

富士吉田安協役員からは「こうつうあんせんの四つのおやくそく」の交通安全グッズと反射材付きキーホルダー



GW中の事故防止を目的に開設した総合街頭指導所



無事故の願いを風船に託した春の全国交通安全運動の開始式

塩山署、塩山市、塩山安全運転管理者協議会、塩山交通安全活動推進委員、熊野地区・西広門田両地区の老人クラブ委員ら約七十人が参加。橋爪会長と警察署長が「春の交通安全運動の重点は、高齢者の交通事故防止です」とあいさつ、参加者全員が一斉に風船を飛ばしました。

参加者は大空に昇っていく風船に向け、十日間の交通安全運動期間中の重大事故の防止、とりわけ高齢者事故絶無の願いを託しました。

文字が浮き上がるプチタオルなどを配布し、児童が交通事故に遭わないよう交通安全を呼び掛けました。

高年齢者交通安全学校  
自転車ルール再確認

○：甲 府

甲府交通安全協会(保坂輝行会長)は甲府署と共同で、四月八日に千塚小体育館で参加体験型の「高齢者交通安全スクール」を開催しました。

富士吉田交通安全協会(湯山喜六会長)は四月六日、新入学児童・幼児を交通事故から守るため、市立第三保育所の幼児百五十人、父母五十人を対象に富士吉田署員による交通安全講話を実施しました。

新入園児・児童に  
反射材グッズ贈る

○：富士吉田

富士吉田交通安全協会(湯山喜六会長)は四月六日、新入学児童・幼児を交通事故から守るため、市立第三保育所の幼児百五十人、父母五十人を対象に富士吉田署員による交通安全講話を実施しました。

### 引越のことなら まずお電話を!

まかせて安心

ISO 9001:2000 認証  
松本引越センター 関東甲信地区事業所

## 松本引越センター

山梨営業所  
TEL. 055-222-0222  
0120-22-0222  
中巨摩郡玉穂町西新居330-7

# 無事故願い 多彩な取り組み

## 春の全国交通安全運動 地区安協の活動

春の全国交通安全運動は四月六日から十五日までの十日間、子供と高齢者の交通事故防止を運動の基本に実施され、山梨県内では十五地区の交通安全協会（安協）などを主体にした体験・実践型の交通安全教室や高齢者弁論大会など、多様な活動を繰り広げました。同運動期間中の取り組みを中心に、地区安協の活動内容を紹介します。

### 3世代一緒に交通安全宣言 市川

市川交通安全協会（八木吉治会長）は市川署、管内自治体、交通関係団体と連携し、春の全国交通安全運動初日に市川署前庭で交通安全運動出発式を行い、地域住民の交通安全意識の高揚を図りました。市川南幼稚園児が交通安全を誓い、交通安全の願いを込めて飛ばした風船に見送られ、山梨ハロー会による交通安全パレードが発せ



風船に見送られ、出発する山梨ハロー会による交通安全パレード

ました。この風船の中の一つが約三時間後に埼玉東松山市の会社に舞い降り、同幼稚園に礼状が届いたことも話題になりました。

期間中、「三世代交通安全教室」といった高齢者と子供の交通事故防止に重点を置いた施策を展開しました。内容は「三世代交通安全宣言」や反

射材の装着指導、シートベルトの効用体験とチャイルドシートの効果的設置指導などを行いました。また市川高校の自転車通学者に対して自転車マナーアップキャンペーンを行いました。

さらに、運転中の携帯電話禁止のためのチラシを作成し、管内全戸回覧なども行いました。



交通マナー向上へ決意表明するマナーアップレディ

### 交通マナー向上へ旗振り 韮崎 レディ6人を委嘱

韮崎交通安全協会（深沢正樹会長）は韮崎警察署とともに、本年度の「マナーアップレディ」6人を委嘱しました。マナーアップレディは、交通安全運動期間中、黄色い羽根の配付や、街頭指導などの行事に参加してもらい、広報啓発活動の一翼を担っていただきます。管内の二十二歳から二十六歳までの女性で構成し、任期は一年間です。

委嘱式では鈴木正明韮崎署長が「一件でも交通事故が減るよう協力してください」とあいさつ、メンバーに委嘱状を手渡しました。メンバーを代表して山梨中央銀行韮崎支



高齢者が交通安全について考えを發表した弁論大会

店の加藤美佳さんが「交通安全活動の重要性を深く認識し、地域で活動していきます」と決意表明しました。

長坂交通安全協会（伊藤重忠会長）と長坂署（星野定署長）など交通関係団体は、春の全国交通安全運動の一環として四月一日、同署で管内高齢者交通安全弁論大会を開催しました。昨年、県下で初めて開催し、今回で二回目とな

りました。大会には管内六町村の七十歳から八十九歳までの高齢者代表十人が参加し、交通安全についての体験談、日ごろ心掛けていることなどについて熱弁をふるいました。日常生活の中で交通安全のために実践していることや、高齢者が歩く道路の安全対策、歩道整備の要望、自らの経験から、交通事故防止には助手席に乗る人の協力も大切である、老化は確実に進んでいる、年齢に合った運転が必要である」と訴えるものなど、高齢者の交通事故防止対策に参考となる意見が発表されました。



信号機色のベストを着て安全運転を呼び掛ける保育所園児



シートベルト着用の徹底などを訴えた南アルプスの街頭指導所

### 西島保育所園児が安全運転呼び掛け

○：諏 沢

イパーに安全運転を呼び掛けました。園児が、元氣よく「きをつけてうんでんしてください」と呼び掛けながら用意された啓発品を手渡すと、ドライバーは、かわいい交通指導員の呼び掛けに「ありがとーがんばってねー」とほほ笑みながら、お礼を言っていました。

### シートベルトの着用徹底を訴え

○：南アルプス

南アルプス交通安全協会

（刃刀長夫会長）は、南アルプス署、市役所、各種交通団体の皆さんと、春の全国交通安全運動の一環として管内の主要交差点など六カ所で街頭指導所を開設しました。交通安全運動のチラシや反射材などの交通安全啓発品を配布しながら「シートベルト着用の徹底」「運転中の携帯電話使用の禁止」などについて呼び掛けました。

身を守る反射材 おしゃれに活用 ○：南部 南部交通安全協会（依田倉蔵会長）は四月八日、身延町総合文化会館大ホールで、道路歩行者、特に夜間における高齢者交通事故防止を図るため、「ピカピカ交通安全フェア」を開きました。身延町、南部町、南部署、南部交通安全管理者協議会、南部交通安全母の会と共同して開き、反射材を生かした被服のファッションショーや県警本部「さちかせ号」による交通安全教室を開催し、参加した身延町・南部町在住の約二百人の高齢者に交通事故防止を熱心に呼び掛けました。反射材使用衣料の有名デザイナーで、内閣府企画「反射材に関する検討委員会」委員の伊藤綾子さんが身延町出身であることから、伊藤さんの「ピカッ」と光ってあなたを救う交通安全ファッション」と題した講演も開きました。また期間中、身延町や南部町に街頭指導所を開設し、お茶どころにちなんで交通安全セーフティレディ四人が茶摘み姿で交通安全を呼び掛けました。



反射材を取り入れたファッションショー

### 高い無事故率

早く優しい地元のための教習

山梨県公安委員会指定

### 岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-5-1

☎0555-22-1689

普一・二、大型一・二、大特、けん引 自二（合宿施設有）

# 春の全国交通安全運動 地区安協の活動



鼓笛隊も参加してにぎやかに行われた交通安全パレード

## 4支部ごとに重点活動推進

〇：都 留

都留交通安全協会（石原滋会長）は春の全国交通安全運動期間中、各支部ごとに重点活動を推進しました。都留市連合支部は、都留市と共催して警察署、市内交通団体、保育園幼稚園の園児ら参加を得て、交通安全を呼

を掲げ、交通安全のための諸活動を推進しました。小学生と高齢者対象交通安全教室「体感」

上野原交通安全協会（和田博夫会長）は上野原署、上野原町、上野原小ほか交通関係団体とともに四月十五日、同小で小学生と高齢者を対象にした参加体験型交通安全教室



上野原小児童らがエアバッグ開放実験などを体験した交通安全フェアIN上野原

山梨県交通安全協会と南甲府交通安全協会（山下譲二会長、市川交通安全協会（八木吉治会長）、石和交通安全協会（三枝力会長）は、四月十日

の反射材着用を広く呼び掛けました。軍団には南甲府、市川、石和の各安協の役員四十人が参加して本陣の仁科五郎盛信隊を編成しました。大将を県安協の八木吉治副会長（市川安協会長）、副将を石和安協の雨宮達巳支部長が務め、団員全員が鎧（よろい）や兜（かぶと）などに武田菱を形どった



南甲府、市川、石和安協などから役員が武田菱反射ステッカーを身につけて出陣し、反射材着用を呼びかけた信玄公祭り

## 安協から

濃淡のピンクの花一面に染まった峽東の春が、いつしか新緑の風とともに初夏を迎える心地よい季節となりました。

私たちが石和交通安全協会は、東八代地域の六町村に六支部を配し、観光、商業および農業圏域における交通事故防止、安全で安心して暮らせる地域づくりに向け、石和警察署をはじめとする関係機関、団体との連携を図りながら、鋭意活動を推進しているところであります。

## 地道な交通安全活動の推進を

石和安協会長 三枝 力



さて、昨年の当協会管内における人身交通事故発生状況は、発生件数六百二十七件、死者五人、負傷者八百三十人であり、死亡事故観光交通および生活交通が混在

域に密着する各支部女性部との協調性を図りながら、地道な活動を展開しているところであります。地域における人と人のつながり、きずなの在り方が問われている現在、悲惨な交通事故を防止し、尊い命を守るため、私たちは住民の、そして管内を訪れる人達の心に訴える地道な交通安全活動というものを今後とも推進して参りたいと思っております。

今秋、この峽東の地に新市「笛吹市」が誕生しようとしています。新しい時代の幕開けの中で、当交通安全協会も心機一転、さらなる交通安全活動推進への意を強くしているところであります。

## 交通安全のファミリー作文

9月10日まで募集

内閣府と全日本交通安全協会などは「交通安全ファミリー作文」を募集します。本年度から各部門の最優秀作には内閣総理大臣賞が授与されることになりました。応募作文は未発表、自作のものに限ります。成人からの応募が少ないため、積極的な応募をお願いします。詳細と応募要領は次の通りです。

財団法人 山梨県交通安全協会経営 公認 山梨自動車学校 南アルプス市野牛島1828 (免許センター内) TEL(055)285-0752

# 必ず着用 シートベルト

## 8月まで 県がステップアップ運動

シートベルト着用ステップアップ運動は、広報啓発活動、指導取り締まり、着用率調査を組み合わせて実施し、シートベルト・チャイルドシート



着用徹底を図ることを目的として実施しています。暑さなどの不快感から、着用率が低下しがちな六月二十五日から八月三十一日まで実施しています。

### 自転車に乗ったら「運転者」

### マナー向上呼び掛け

県警

山梨県のシートベルト着用率は、多くの関係者の皆さんが日ごろから着用指導や啓発活動を熱心に行っていたいたこともあり、平成十四年度の全国調査では、運転席で九〇%を超える状況にまで向上してきました。

しかしながら、交通事故で死亡した人の着用率は、いまだに低いまま推移しています。平成十五年は三九・五%の着用率で、シートベルト非着用で亡くなった二十三人のうち十五人は、シートベルトを着用していれば命が助かったと考えられています。

また、後部座席に乗っている人がシートベルトを着用していないと、事故の衝撃で前に倒れる危険があります。

自転車は、その手軽さや利便性から、子どもから高齢者まで幅広く利用されています。最近ではマナーの悪い自転車利用者の多いのに非常に驚かされます。

肩先をかすめて走る自転車。歩道を並んで走り、歩行者をあわてさせる自転車。一時停止を無視して飛び出し、車を急停止させる自転車。携帯電話でメールしながら片手運転の自転車。無灯火で車道を逆走する自転車。多くの人は、車を運転中に、あるいは歩行中にこういった自転車を

ヒヤッとさせられています。本来、自転車は道路交通法で「軽車両」という位置づけになっていて、車道の左端に寄って走るのが原則です。歩道は歩行者専用の通行場所であって、自転車が通行できるのは「自転車通行可」の区間のみです。これはあくまでも特例として通行できるもので、通行に当たっては、車道を逆行して走行しなければなりません。

もちろん、歩行者の通行を妨害してはなりませんし、そのおそれのあるときは、一時停止しなければなりません。そのほか、一時停止や信号に従う義務など、自動車やバイクの運転手と同様な義務が課せられています。

最近の自転車関係する事故をみてみますと、全国的には交通事故死者の二・六%が自転車乗車中に発生しており、この比率は年々、増加傾向にあります。加えて、歩行者との接触による自転車事故の件数も近年、増加傾向を示しています。その他、交通事故で自転車側に違反が認められる割合が高くなっていることなどが挙げられます。

自転車をめぐる交通事故情勢の悪化要因は、自転車の利用が拡大する一方で、自転車利用者の交通法規の認識不足や、法規を知らないことによるものと考えられます。

「自転車に乗ったら、あなたは運転者です」「迷惑をかけずに安全に乗ろう」を合言葉に、自転車のマナー向上を図っていただきたいと思っております。(山梨県警察本部交通部)

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

また、子どもの交通事故によるけがの多くは、車に乗っている時に起こっています。小さな子どもを車に乗せるときには、チャイルドシートを必ず使用しましょう。

小さな子どもの命を守るのには、大人の責任です。(山梨県交通対策推進協議会)

席に投げ出され、運転席や助手席の人に激突して前席の人の傷害も大きくしてしまつことにもなりかねません。

道路交通の安全を確保するために、さまざまな取り組みがなされています。「交通安全教育」はその一つですが、なぜ必要なのでしょう。それは、複数の人が道路交通の場で共存しているため、交通方法などの約束事に関する共通の知識が必要であり、この共通の知識には法令に基づく交通ルールだけでなく、交通マナーやモラルも含まれます。これらは道路交通が運転者らにとって日常生活の一部であることから、人々が

道路交通の安全を確保するために、さまざまな取り組みがなされています。「交通安全教育」はその一つですが、なぜ必要なのでしょう。それは、複数の人が道路交通の場で共存しているため、交通方法などの約束事に関する共通の知識が必要であり、この共通の知識には法令に基づく交通ルールだけでなく、交通マナーやモラルも含まれます。これらは道路交通が運転者らにとって日常生活の一部であることから、人々が

道路交通の安全を確保するために、さまざまな取り組みがなされています。「交通安全教育」はその一つですが、なぜ必要なのでしょう。それは、複数の人が道路交通の場で共存しているため、交通方法などの約束事に関する共通の知識が必要であり、この共通の知識には法令に基づく交通ルールだけでなく、交通マナーやモラルも含まれます。これらは道路交通が運転者らにとって日常生活の一部であることから、人々が

道路交通の安全を確保するために、さまざまな取り組みがなされています。「交通安全教育」はその一つですが、なぜ必要なのでしょう。それは、複数の人が道路交通の場で共存しているため、交通方法などの約束事に関する共通の知識が必要であり、この共通の知識には法令に基づく交通ルールだけでなく、交通マナーやモラルも含まれます。これらは道路交通が運転者らにとって日常生活の一部であることから、人々が

道路交通の安全を確保するために、さまざまな取り組みがなされています。「交通安全教育」はその一つですが、なぜ必要なのでしょう。それは、複数の人が道路交通の場で共存しているため、交通方法などの約束事に関する共通の知識が必要であり、この共通の知識には法令に基づく交通ルールだけでなく、交通マナーやモラルも含まれます。これらは道路交通が運転者らにとって日常生活の一部であることから、人々が

道路交通の安全を確保するために、さまざまな取り組みがなされています。「交通安全教育」はその一つですが、なぜ必要なのでしょう。それは、複数の人が道路交通の場で共存しているため、交通方法などの約束事に関する共通の知識が必要であり、この共通の知識には法令に基づく交通ルールだけでなく、交通マナーやモラルも含まれます。これらは道路交通が運転者らにとって日常生活の一部であることから、人々が

道路交通の安全を確保するために、さまざまな取り組みがなされています。「交通安全教育」はその一つですが、なぜ必要なのでしょう。それは、複数の人が道路交通の場で共存しているため、交通方法などの約束事に関する共通の知識が必要であり、この共通の知識には法令に基づく交通ルールだけでなく、交通マナーやモラルも含まれます。これらは道路交通が運転者らにとって日常生活の一部であることから、人々が

道路交通の安全を確保するために、さまざまな取り組みがなされています。「交通安全教育」はその一つですが、なぜ必要なのでしょう。それは、複数の人が道路交通の場で共存しているため、交通方法などの約束事に関する共通の知識が必要であり、この共通の知識には法令に基づく交通ルールだけでなく、交通マナーやモラルも含まれます。これらは道路交通が運転者らにとって日常生活の一部であることから、人々が

### シグナル

### 自分の運転見直すチャンス 各種講習制度の積極活用を

を学んで、それに基づいて行動(実践)することへの「導き」が重要となり、その「導き」となるのが「交通安全教育」であり、この必要性なのです。

この講習につきましては、免許取得時講習、免許更新時の更新時講習、初心運転者講習、停止処分者講習、取消処分者講習、高齢者講習などがあります。

また、これらの講習を受けた後で感想を聞きますと、「今までの自分の運転方法は正しくなかった」「交通知識が間違っていた」など

の意見が見受けられ、講習の効果が認められます。運転者のみなさんも、各種講習の受講機会があらましたら、単に受講するとい

うのではなく、今一度、自分の運転方法や知識を見直し、今後も安全運転を行うための知識を得る、良いチャンスとと考えていただきたいと思います。

この言葉から私は、「交通事故の増加は、それによって悲しむ人の増加なのだ。どうかして、交通事故を無くしたい」と強く思うようになりました。しかし、改めてまわりを見てみると、シートベ

ルをつけないドライバーや、車が走って行く道路を平坦と横切る歩行者など、多くの人が、まるで「自分は事故に守ることは、予防の最善策にかならない」と思っていることに、驚きました。

安全のために作られているのだから、守ることが、交通安全への近道になると思っております。



県中学生交通安全弁論大会の優秀作品

## 交通安全への提案~合言葉は3Y

都留第二中学校 河野 紗也加

私は最近、自分勝手な人の増加が、交通事故の増加に反映しているのではないかと考えています。よって、道路を使う者同士譲り合うことが、重要なことだと思います。また、譲り合える心を持つためには、焦りが禁物です。常に、心と時間に余裕を持つておくことも必要だと思います。

最後に、三つ目のY、「弱い心に負けない」。飲酒運転や、ヘルメット無着用など、「これ位なら大丈夫だろう」と、これを平気だろ」といった、弱い心に負けるような大きな事故に繋がると分かります。自分の弱さを克服し、

安全第一を心掛けて欲しいと思います。大切な人が事故に遭った後、自分自身が事故に遭った後では遅いのです。皆が安心して生活するために、「3Yの合言葉」を実践していきませ

ます、一つ目のY、「予防を

忘れない」。事故から身を守るためには、事前の予防が必要不可欠です。中でも、交通ルールを守ることは、予防の最善策にかならないと思

っていることに、驚きました。ルールは、道路を使う者の安全のために作られているので、それを守ることが、交通安全への近道になると思

っております。

安全のために作られているのだから、守ることが、交通安全への近道になると思

っております。

**SD 自動車安全運転センター**

**SDカード<sup>®</sup>をお持ちですか？**

SDカード (SafeDriver) は、安全運転者の誇りと自覚を象徴するものです。無事故・無違反の年数により色分けされています。

SDカードを取得したい…  
無事故無違反証明書または運転記録証明書の申請者で、1年以上無事故・無違反の方にSDカードを差し上げます

SDカード特典の店  
SDカードをお持ちの方には、ガソリン代・食事代・宿泊代などの割引やマイカーローンの金利を優遇するお店が増えています。

SDカード優遇店については、最寄りのセンター事務所にお問い合わせになるか、またはホームページをご覧ください。

- 証明書の必要な方は、最寄りの郵便局から郵便振替の方法により申し込むか、または各地のセンター事務所へ直接申し込んでください。なお、申し込みは全国どこでも受け付けます。
- 申込用紙 (郵便振替用紙に印刷したもの) は、センター事務所のほか、警察署、交番、駐在所などに備え付けてあります。
- 証明書は、後日郵便でお届けするか、またはセンター事務所の窓口でも直接お渡しします。

自動車安全運転センター山梨県事務所  
南アルプス市野牛島1828 電話 (055)285-2345 <http://www.jsdc.or.jp/>



**日本交通管理技術協会山梨県支所**

自転車は手ごろな乗り物として、子供からお年寄りまで幅広い年代に日常生活で利用されています。しかし、事故の危険性も無視できません。

自分が乗って  
自分が乗って

**万一に備え自転車にTSマーク**

「TSマーク」には傷害保険と損害保険が付いています。加入の方法はお近くの自転車安全整備店の看板のある店で、一定の点検・整備をして「TSマーク」を張ってもらうことで加入したことになります。TSマークは「安全

賠償責任・傷害保険付  
(点検日から1年間有効)  
自転車安全整備士  
30897028  
点検16年7月1日

●TSマークには、保険(傷害・賠償責任)がついています。

傷害保険		賠償責任保険
入院15日以上(一律)	死亡・重度傷害(1~4級)(一律)	死亡・重度傷害(1~4級)(限度額)
10万円	100万円	1,000万円

●TSマークは、自転車安全整備店のしるしがある店で貼ります。

自転車の点検と整備は、このしるしのある店で受けて下さい。交通ルールや正しい乗り方など安全利用のアドバイスもいたします。



**県トラック協会**

**正面から自然と向き合っている。**

良い環境 築く主役は あなたです。



私達トラックの使命は、人々の豊かな生活を、その90%を占める物流面から支えること。でも、それだけではありません。素晴らしい環境を次の世代にしっかり届けるために、私達は正面から自然と向き合っています。アイドリ

グストップ運動やCNG車のような低公害車の普及促進、そしてディーゼル微粒子除去装置の装着などの環境対策に、業界をあげて取り組んでいます。いつまでも人と自然が共存できる、緑豊かな地球であるように。

**山梨県バス協会**

身近な公共交通手段としておなじみのバスですが、使用目的によって種類が定められているのをご存じですか。

**目的に合ったバス利用を**

【事業用バス】緑ナンバーの事業用バスは、乗合バス(路線バス)、貸切バス(観光バス)、特定バス(会社や学校など)と契約し特定のお客様を乗せる)に分かれます。種類の利用しない法

で観光案内するのは道路運送法違反です。またレンタバスを運転手つきで借りたり、特定バスを一般のお客様の観光に使用するのはいけません。法律で認められた貸切バス会社のバスならこんな心配もなく、安心して旅行などを楽しんでいただけます。ぜひ安心、快適な協会加盟の貸切バス会社をご利用ください。

**山梨県タクシー協会**

社団法人関東自動車無線協会は五月十三日、富士吉田市内第四十四回通常総会を開催し、関東一都七県からハイヤー・タクシー事業者約二百四十人が出席しました。

**無線デジタル化推進の年**

「デジタル化推進の年」と位置づけ、タクシー無線デジタル化導入計画策定委員会を展覧的に改組して「タクシー無線デジタル化推進委員会」を

「厳しい環境下だが、早期の導入を」、関東運輸局自動車交通部長は「配車効率アップや乗務員の負担軽減による事故抑制効果が期待できる」と強調、推進を求めました。山梨県警本部交通部参事官、富士吉田市長が祝辞を述べ、タクシー無線普及発展に功績があった六人と永年勤続十八人が表彰されました。